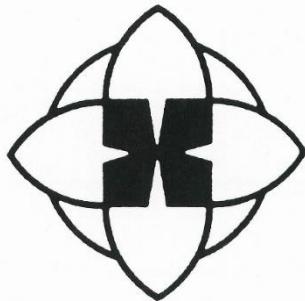


令和 7 年 度

運営に関する計画



令和 7 年 4 月

大阪市立矢田北小学校

現状と課題

創立 50 周年を来年度に控え、日々の教育活動の推進とともに地域との連携を深めつつ、充実した活動的な 1 年となつた。重点としてきた「学力保障」・「集団の育成」に向けた取組を進める中で、学力向上やあいさつ児童の増加など、一定の成果もあつた。不登校児童に関しては、改善した児童もいたが、新たに不登校となる児童もいる。また、外国籍児童の増加など、学力保障にむけての課題もある。

【安全・安心な教育の推進】**全市共通目標(小学校)**

○令和 6 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87 % 以上にする。

⇒ **達成** (74. 5% → 80. 8% → 88. 9%)

○令和 6 年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

⇒ **達成** (4. 17 → 8. 97 → 8. 38) 6 人 → 14 人 → 14 人

○令和 6 年度末校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

⇒ **達成** (50. 0 → 40. 0 → 50. 0) 4 名は改善したが、新たに 4 名増加

毎学期いじめアンケートを実施した他、日々の学級指導による担任による声かけ、タブレットによる相談機能の活用等により、未然防止、早期発見、早期解決に努めた。軽微なものをすばやく発見し、すぐ対応することでいじめ重大事案にならないように努力している。経過観察が必要な案件もあるが、無事解決に至っている。

現在不登校・不登校傾向のある児童は全体で 14 名と昨年度と同数である。改善した児童は 4 名いるが、新たに登校しにくくなる児童や不登校傾向の児童が転入してくるケースもある。保護者の考え方も多様化し、「無理に行かせません」「学校へ行かせる意味がない」と様々な価値観があるので、対応に苦慮している。また、家庭環境が安定せず、引き続き関係機関と協力し、見守りを続けていかなければならない児童も多く在籍している。高学年に進級し、「学校を休む」 = 「学習の遅れ」という負のスパイラルに陥ってしまうとさらに不登校傾向が悪化するため、今後、スクールカウンセラーや SSW、区役所の子どもサポートネットなど、関係機関との連携を深め、よりよい支援を探りつつ支援を続けていく。加えて、外国にルーツのある児童も増えつつあり、言語の壁で、学力保障に支障をきたすことが懸念される。日本語指導を受けている児童は現在 5 名であるが、増加傾向である。

学校の年度目標

○令和 6 年度の学校アンケート「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を 92 % 以上にする。

⇒ **未達成** (84. 7% → 91. 0% → 88. 8%) - 2. 2

○令和 6 年度の学校アンケート「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を 93 % 以上にする。

⇒ **未達成** (91. 9% → 92. 4% → 90. 6%) - 1. 8

○令和6年度の学校教育アンケート「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。

⇒ 達成(85.4%→84.7%→91.8%) +7.1

「楽しく学校に通っている」の肯定的回答は少し下がったが、概ね90%近くの数値を示しているので大変嬉しく感じている。日頃より教職員が児童の気持ちに寄り添い、楽しい学校になるよう集団作りに取り組んだ成果であると考える。また、「きまり」に関しては、生活目標の設定やあいさつ運動等、ルールを守るということについて、その意味や自分の行動について振り返るよう指導した。あいさつについては、向上したが、きまりを守らない部分も少しずつ増えてきている。保護者の価値観や意識変化があり、染髪やピアス等、学校のルールに協力されない事案が増加している。引き続き協力を求めていきたい。今後も道徳教育や人権教育、課内実践等を通して、「相手の気持ちを考えて行動すること」や「心を耕す教育」を推進していく。

次年度も継続して取り組み、本当の意味で行動に移せる児童の割合を増やすことを目指す。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

○令和6年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、40%以上にする。

⇒ 達成(32.0%→42.5%→47.8%) +5.3

6年(40.7) 5年(38.1) 4年(50.0) 3年(62.5)

○令和6年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。

⇒ 未達成 6年国(-0.04) × 5年国(+0.07) ○ 4年国(+0.04) ×

⇒ 未達成 6年算(+0.12) ○ 5年算(-0.15) × 4年算(+0.26) ○

○令和6年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

⇒ 未達成(70.4%→69.7%→76.4%) +6.7

6年(59.2) 5年(90.5) 4年(64.2) 3年(91.7)

○令和6年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

⇒ 達成(49.1%→80.8%→75.5%) -5.3

6年(66.6) 5年(76.2) 4年(67.9) 3年(91.6)

○令和6年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

⇒ 未達成(73.5%→69.7%→71.8%) +2.1

6年(73.9) 5年(74.1) 4年(55.6) 3年(75.0)

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」については、2年連続で大きく伸びた。授業の中で話し合う場面を多く取り入れた成果であると考える。今後も「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動を進めていく。

国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較した結果、算数に関しては、2学年向上できた。国語については、2学年未達成であったが、数値的には向上している。引き続き、個に応じた丁寧な指導を続けるとともに授業力の向上に取り組む。

理科に関しては、実験・観察等を丁寧に行い、「発見する喜び」「予想する期待感」を求めるように授業を工夫してきたため、全体として向上した。理科教育推進校として、理科補助員と連携し、実験・観察の準備を効率的に行い「なぜだろう」「どうしてだろう」の疑問について、じっくり考える時間を確保し、効果的な実験・観察の時間を持たせたためである。また、校内自然環境を整備し、生き物に対する興味関心を喚起させ「生物多様性」や自然保全の大切さを実感させる取り組みを進め、理科の面白さを追求した成果であると考える。

外国語（英語）に関しては、どの学年も大幅にアップした。楽しく英語に触れる機会等を増やし、C-NETとの連携を深め、授業を改善した成果であると考える。

運動に関しては、なわとび集会やランランタイム、中学校の先生による指導等の取り組みにより、成果が出た。一輪車や竹馬の整備や鉄棒下に芝生を引く等、運動できる環境の整備も引き続き進め、体力向上を目指していきたい。

学校の年度目標

○令和6年度の小学校学力経年調査の結果が、国語算数の全24観点のうち、10観点が大阪市の平均を上回るようにする。

⇒ 達成 (8観点→6観点→13観点)

○令和6年度の学校アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

⇒ 未達成 (91.9%→89.0%→83.2%) -5.8

○「手洗い週間」を実施し、手洗いチェックで「せっけんで手を洗った」と答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より2%向上させる。

⇒ 達成 (90.9%→91.4%) +0.5

参考「ぶくぶくうがい」 (81.4%→82.9%) +1.5

参考「ろうかはあるく」 (95.7%→95.6%) -0.1

学力については、今後も研究教科を設定し、教育センターや教育委員会のアドバイスを受けながら、授業力の向上に努めた。また、矢田北タイムや漢字検定、図書館の充実、読書活動（読み聞かせ）やデジタルドリルの活用をさらに進め、引き続き、基礎基本の定着に取り組んでいきたい。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）

⇒ **未達成** 達成率は7.0のため、未達成 年間を通して7割程度が使用している。

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。

※基準1・・・1ヶ月の時間外勤務が 45時間以下

・・・1年間の時間外勤務が360時間以下

⇒ **達成** (R5 55.0%→61.9%)

目標の8割以上が使用の目標値には届いていないが、全体として7割の児童は活用している。カウントの仕方等を教育委員会とも意見交換を進め、今後も引き続きICTの活用に積極的に取り組んでいきたい。ICTを活用した家庭学習に関しては、学年の実態に応じて、できていない学年もある。活用事例の研修などを進め、取り組みを強化していきたい。保健の「手洗い」に関しては、概ね90%を超えており、定着していると考える。

教職員の働き方改革（勤務時間の削減）については、目標を達成できた。引き続き取り組んでいきたい。

学校の年度目標

○学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を1日1回以上入力し、児童の心の状態や日々の生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。

⇒ **未達成** 入力率は、(71.9%→80.9%→72.9%) - 8.0

○令和6年の学校アンケート「学校や家ですすんで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を60%以上にする。

⇒ **達成** (54.8%→59.3%→60.1%) + 0.8

○学校アンケート「学校は、家庭・地域（見守り活動、読書活動支援、地域交流行事等）等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を85%以上にする。

⇒ **達成** (95.3%→93.4%→87.4%→95.1%) + 7.7

1 学校運営の中期目標

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。R4 84. 7%→91. 0%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。R4 91. 9%→92. 4%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を88%以上にする。R4 85. 4%→84. 7%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7（2025）年度の小学校学力経年調査の結果、国語・算数の全24観点のうち、12観点以上が大阪市の平均を上回るようにする。

R4 (8観点)→6観点→13観点

○令和7（2025）年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

R4 49. 1%→80. 8%→75. 5%

○令和7（2025）年度の教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

R4 91. 9%→89. 0%→83. 2%

○「手洗い・（うがい）週間」を実施し、アンケートの手洗い・うがいチェックで「せっけんで手を洗った」と答える児童の割合を90%以上にする。

R4 91. 4%→95. 1%→91. 4%

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「日々の授業の中で、パソコンやタブレットを使い、学習することができている。」に肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。

R4 71. 9%→80. 9%→72. 9%

○ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

R4 54. 8%→59. 3%→60. 1%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「学校は、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を90%以上にする。

R4 93. 4%→87. 4%→95. 1%

2 中期目標の達成に向けた（令和7年度）年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

○令和7年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **82%** 以上にする。
R4 74. 5%→80. 8%

○令和7年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
6人→6人→14人

学校の年度目標

○令和7年度末校内調査の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を **90%** 以上にする。
R4 84. 7%→91. 0%→88. 8%

○令和7年度末校内調査の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を **90%以上** にする。
R4 91. 9%→92. 4%→90. 6%

○令和7年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を **86%** 以上にする。
R4 85. 4%→84. 7%→91. 8%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、**45%以上** にする。
R4 32. 0%→42. 5%→47. 8%

○令和7年度の小学校学力経年調査における**算数の平均正答率の対全国比**を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より **0.05ポイント** 向上させる。
⇒ **達成** 6年算 (+0.39) 5年算 (+0.17) 4年算 (+0.20)

○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **70%以上** にする。
R4 49. 1%→80. 8%→75. 5%

○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を **75%以上** にする。
R4 73. 5%→69. 7%→71. 8%)

学校の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査の結果が、国語算数の全24観点のうち、10観点が大阪市の平均を上回るようにする。 R4 (8→6→13観点)
- 教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。R4 91.9→89.0→83.2%
- 「健康週間」を実施し、健康チェックで肯定的に回答すると答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より増加させる。90%以上を維持する。
R4 91.4%→95.1%→91.4%

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT活用が適さない日数を除く)
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を65%以上にする。(R5 55.0%→61.9%)

学校の年度目標

- 学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を1日1回以上入力し、月間使用率をあげ、児童の心情や生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。
入力率を80%以上にする。 R4 71.9%→80.9%→72.9%
- 令和7年度末校内調査の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を60%以上にする。 R4 54.8%→59.3%→60.1%
- 教育アンケート項目「学校は、家庭・地域（見守り活動、読書活動支援、地域交流行事等）等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を95%以上にする。 R4 93.4%→87.4%→95.1%

大阪市立矢田北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>82%以上</u> にする。</p> <p><u>R4 74.5% ⇒ R5 80.8%→R6 88.9%</u></p> <p>○令和7年度の校内調査において、不登校児童の在籍比率を <u>前年度より減少</u> させる。</p> <p><u>R4 4.17% ⇒ R5 8.97%→R6 8.38%</u></p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>○令和7年度の校内調査の教育アンケート「楽しく学校に通っている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>90%以上</u> にする。</p> <p><u>R4 84.7% ⇒ R5 91%→R6 88.8%</u></p> <p>○令和7年度の校内調査の教育アンケート「学校のきまりを守っている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>85%以上</u> にする。</p> <p><u>R4 91.9% ⇒ R5 92.4%→R6 90.6%</u></p> <p>○令和7年度の校内調査の教育アンケート「相手の気持ちを考えて行動できる」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>86%以上</u> にする。</p> <p><u>R4 85.4% ⇒ R5 84.7%→R6 91.8%</u></p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】 <p>道徳教育や人権教育（外国人教育、特別支援教育、平和教育など）の充実を図り、互いの考えを交流し合い、命や人権の尊さについて考え、良好な人間関係を目指そうとする集団を育成する。</p> <p>（道徳教育・人権を尊重する教育・インクルーシブ教育・多文化共生教育の推進）</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)道徳教育や人権教育を通し、道徳的価値理解だけでなく自己を見つめ、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考える態度を養う。 (2)年間を通じ、平和学習、課内実践（民族講師・老師などとの交流）、特別支援理解教育等を実施し、各学年が学んだことを交流する場を<u>年に一回以上</u>設定する。 (3)人権学習週間を設定し、「ひと・いのち（ひと・ぬくもり）（ひと・つながり）」などを活用した授業や「いじめについて考える」授業を<u>年に3回以上</u>実施する。 		
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 <p>毎月生活目標を設定し、各学期に強調週間を設け、全教職員で学校のきまりを指導する。</p> <p>（問題行動への対応・安全教育の推進）</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>毎月</u>生活目標を設定し、<u>各学期</u>に強調週間を設け、全教職員で学校のきまりを指導する。グリーティングメダル等を活用し、日頃からあいさつできる習慣を身につけさせる。（見守り隊の方や来校者、職員室への入り方など） <p>（令和7年度も、<u>あいさつを重視して指導する</u>）</p>		
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 <p>児童一人ひとりが活躍できる場を設定し、達成感を持たせ自尊感情を高める。また、子どもの発達段階に応じたキャリア教育を推進し、各学年で文化的・体験的な学習を実施する。</p> <p>（キャリア教育の充実）</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)各学級、学校行事、児童会活動、集会活動などで、発表する場を設定する。 (2)各学年が体験活動を年に<u>3回以上</u>計画・実施し、全校児童でも芸術活動を実施する。 <p>（各学年の社会見学、キッザニア甲子園での職業体験、外部講師を招いての出前授業、劇や音楽鑑賞、矢田北まつり、わくわくらんど、校内たんけんなど）</p>		
取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 <p>「心の天気」「相談機能」等を活用し、児童の実態把握に努め、指導に生かす。</p> <p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を深め、安心・安全な教育環境を構築する。また、関係諸機関との連携を密にし、多面的・多角的な支援を行い、不登校児童や虐待児童に対して、学校として組織的に対応する体制を構築する。</p> <p>（問題行動への対応・安全教育の推進）</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の校内調査の教育アンケート「楽しく学校に通っている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を<u>85%以上</u>にする。 <p>R4 84.7% ⇒ R5 91% ⇒ R6 88.8%</p>		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間反省

大阪市立矢田北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>40%以上</u> にする。 <u>R4 32.0% ⇒ R5 42.5% ⇒ R6 47.8%</u></p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.05ポイント向上</u> させる。 <u>R4 未達成 ⇒ R5 達成 ⇒ R6 未達成</u></p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上</u> にする。 <u>R4 49.1% ⇒ R5 80.8% ⇒ R5 75.5%</u></p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を <u>75%以上</u> にする。 <u>R4 73.5% ⇒ R5 69.7% ⇒ R6 71.8%</u></p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査において、国語と算数の全24観点のうち、<u>10観点</u>が大阪市の平均を上回るようにする。 <u>R4 8観点 ⇒ R5 6観点 ⇒ R6 13観点</u></p> <p>○教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>88%以上</u> にする。 <u>R4 91.9% ⇒ R5 89.0% ⇒ R6 83.2%</u></p> <p>○「健康週間」を実施し、健康アンケート「せっけんで手を洗った」「ぶくぶくうがい」「安全に過ごす」の項目に対して、<u>1・2学期のアンケートを肯定的に答える児童の割合を共に 90%以上</u> にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力向上】	
<ul style="list-style-type: none"> 全学年で授業研究や討議会、一人一授業を実施し、教員の授業力を向上させる。 課題に向き合う力や自分の考えを表現する力の定着、ポジティブ行動支援等の指導法についての研究を進める。 <p style="text-align: center;">(言語活動の充実(思考力・判断力・表現力の育成))</p>	
指標	<ul style="list-style-type: none"> 各学年 <u>1回以上</u>の研究授業、討議会の実施、外部講師による全体研修会を <u>5回以上</u>実施する。
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】	
<p>基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。</p> <p style="text-align: center;">(「主体的・対話的で深い学び」の推進・個別支援の充実)</p>	
指標	<ul style="list-style-type: none"> 矢田北タイムの設定や放課後学習、家庭学習を通して、基礎学力の定着・向上を目指す。日記学習や自主学習等の家庭学習を、<u>週1回以上</u>取り組む。 学習支援ツール navima (ナビマ) やスタディサプリの活用を進める。 <u>週1回以上</u>取り組む。 低、中、高学年向けの家庭学習の手引きを懇談会等で活用する。
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】	
<p>体育科の授業や体育的行事を通して、運動する喜びを実感させる。また、児童が運動することが楽しくなるような環境整備を進める。</p> <p style="text-align: center;">(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>	
指標	<ul style="list-style-type: none"> なわとび集会やランランタイム等、全校児童が楽しく参加できる体育的行事を実施する。 スポーツ「夢・事業」など、外部講師を招いた体育授業を<u>年2回以上</u>行い、生涯スポーツへつなげる。
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】	
<p>健康な身体をつくるために、規則正しい生活習慣を身につける。</p> <p>(虫歯の減少、けがの防止、手洗いうがいの習慣化)</p> <p style="text-align: center;">(健康教育・食育の推進)</p>	
指標	<ul style="list-style-type: none"> 給食後の「ぶくぶくうがい」や「歯」に関する授業の実施、歯科受診の啓蒙等を進める。1・2学期に健康アンケートを実施し、「ふくぶくうがい」に関する項目について、肯定的に答える児童の割合を共に<u>90%以上</u>にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間反省

大阪市立矢田北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を 65%以上 にする。</p> <p style="text-align: center;">R5 55.0% → R6 61.9%</p> <p>※基準1・・・1ヶ月の時間外勤務が 45時間以下 ・・・1年間の時間外勤務が360時間以下</p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>○学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を 必ず1日1回以上 入力し、児童の心の状態や日々の生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。（1年生は、2学期から 2~6年生は、5月から）</p> <p>入力率 80%以上 にする。</p> <p style="text-align: center;">R4 入力率 71.9% ⇒ R5 80.9% ⇒ R6 72.9%</p> <p>○令和7年度の校内調査の学校アンケート「学校や家ですで読んで読書をしている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を 60%以上 にする。</p> <p style="text-align: center;">R4 54.8% ⇒ R5 59.3% ⇒ R6 60.1%</p> <p>○令和7年度の校内調査の教育アンケート「学校は、家庭や地域と連携・協働した教育を推進している。」の項目に対して、肯定的に答える保護者の割合を 85%以上 にする。</p> <p style="text-align: center;">R4 93.4% ⇒ R5 87.4% ⇒ R6 95.1%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーションの推進】 <p>ICT を活用した教育やプログラミング教育に取り組み、児童の思考力・表現力を育てる。 (ICT を活用した教育の推進)</p> <p>指標 <ul style="list-style-type: none">授業日において、出席児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)</p>	
取組内容②【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーションの推進】 <p>スクールライフノートの「心の天気」やデジタルドリル・スタディサプリも活用し、児童のタブレット使用率を向上させる。 (ICT を活用した教育の推進)</p> <p>指標 <ul style="list-style-type: none">「心の天気」入力率を <u>80%以上</u> とする。 (R4 71.9→R5 80.9%→R6 72.9%)</p>	
取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <p>火(月2回)・金曜日を「ゆとりの日」に設定し、原則17:30退勤を実施する。 (働き方改革の推進)</p> <p>指標 <ul style="list-style-type: none">第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。 (R5 55.0%→R6 60.1%) <u>1日2時間程度</u></p>	
取組内容④【基本的な方向8、生涯学習の支援】 <p>図書館開放等、学校司書や読み聞かせボランティアとの連携のもと、意欲をもって読書に親しむ環境を整える。(読書通帳や読み聞かせ会等の読書の楽しさを伝える取り組みを進める) (学校図書館の活性化)</p> <p>指標 <ul style="list-style-type: none">図書館や「ほっとスペース」の利用を増やし、令和7年度の校内調査の学校教育アンケート「学校や家ですぐで読書をしている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>60%以上</u> にする。 R4 54.8%→R5 59.3%→R6 60.1%</p>	
取組内容⑤【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 <ul style="list-style-type: none">学校・学年だよりやホームページ、ミマモルメ等の活用、定期的な家庭連絡で児童の活動や学校の様子を伝え、連携を深める。地域行事の交流活動を通して、地域の方の思いを知り、感謝する気持ちを育てる。やたきたまつりの出店や茶道体験等、地域人材と連携し、交流を深める。 <p>(地域学校協働活動の推進)</p> <p>指標 <ul style="list-style-type: none">令和7年度の校内調査の教育アンケート「学校は、家庭や地域と連携・協働した教育を推進している。」の項目に対して、肯定的に答える保護者の割合を <u>85%以上</u> にする。(R5 87.4%→R6 95.1%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間反省